

## 会員の広場

### 姑を思う

大塚地区 稲石定子

私は此頃、続けて姑の夢を見る。後姿ばかりである。姑と二人で麦の土寄せをしている。姑は鍬数が多く丁寧に寄せるから麦はどちらにも傾ぐことなく畝は一直線である。比べて私は鍬使いは乱暴なので大どんぐりの土の塊が一鍬毎麦に当たって傾いでいる。仕事は早いが一直線にならない。汗びっしょりの私。

さて次の夢は初客(里帰り)に行った日のこと。もう五十七年も前になる、背が高く、すんなりとして羽織姿の美しかった姑、そのねたましい程の後姿が何か忙しげに私の歩みを急かしている。私はどうしてか袴を仕立て直したモンペをはいて戦争中の登校姿のカーキ色のカバンを肩から斜めにかけている。暑くて暑くて汗を拭き拭き歩いている。川に出た。川面いっぱい赤、白、ピンク、マダラの菊の花首が浮いている。私は姑を忘れて上流から下流へと花びらが動くように流れるのを立ってじっと見ていた。いつの間にか姑の姿はなかった。汗びっしょりで目覚めた枕の元には花瓶にさした菊が狂おしいまでに匂っていた。

明日は曹洞宗大本山永平寺に亡父の納骨に行くと長男・次男そして娘夫婦が久し振りに集った。良寛上人は曹洞宗円通寺で雲水をされていたと言う御縁の話題から上人の戒語に話が及び、①人が言い切らぬ中に割り込む②良く心得ぬことを教える③自慢話をする④たやすく約束する⑤親切らしくものを言う⑥人の隠したいことをあからさまに言う⑦顔、特に目をみつめてものを言う。もう八十間近い私だけれどもまだまだ修行しなければならないことばかりとしみじみ思う。◎物溢れ心貧しき日を重ねあなたの逝きし齢に近づく 定子詠

◎ほうほうと生きるはかなし太極拳立禅の法は外つ国のもの 定子詠

高村光太郎の「母をおもふ」の詩にもあるようにどんなことも姑は知っていたような気がする。与えられた命を大切にしたい。

## 2005年 市老連の主催事業

年間	女性部健康教室(月1回)
4/6	春の高齢者交通事故防止 キャンペーン
4/12~13	女性部一泊研修旅行
5/26	市老連総会
6/7	第7回 市老連 グラウンド・ゴルフ大会
7/12	夏の交通安全県民運動 キャンペーン
7月~11月	男の料理教室(年3回)
8/29	第40回 愛知県老人福祉大会
9/14	第24回 愛知県老人クラブ ゲートボール大会
9/20	全国一斉社会奉仕の日
9/23	交通安全音楽祭
10/2	第33回 愛知県 老人スポーツ大会
10/2	第1回 愛知県老人クラブ グラウンド・ゴルフ大会
10/24	第22回 東三河老人クラブ ゲートボール大会
11/4	第25回 高齢者 レクリエーション大会
11/8	第8回 市老連 グラウンド・ゴルフ大会
11/15	第3回 東三河老人クラブ グラウンド・ゴルフ大会
11/22	愛知県 高齢者自転車大会
12/2	年末交通安全県民運動 キャンペーン
1/6	市老連新春たうオケ大会
3/5	第23回 福祉まつり